

大會プログラム

1.	開	會	講	一	合	合
2.	議	長	壇	授	命	命
3.	議	副	壇	任	命	命
4.	副	大	任	任	命	命
5.	大	心	任	任	命	命
6.	心	祝	任	任	命	命
7.	祝	祝	任	任	命	命
8.	文	祝	任	任	命	命
9.	本	祝	任	任	命	命
10.	議	祝	任	任	命	命
11.	役	祝	任	任	命	命
12.	新	祝	任	任	命	命
13.	有	祝	任	任	命	命
14.	閉	祝	任	任	命	命

本部活動報告書

昭和四年五月二十一日ヨリ
 全五年五月二十一日ヨリ

我東電従業員組合は昨年度不況の突議に基き東電資本家に決
 議文を突きつけたと同時に全組合員大衆の切實なる要求に寄つて彼
 の大半議を刊行した。この配階級を恐怖せしめると同時に東電
 資本家の牙城に迫り電氣産業労働者の階級的使命を果した。これ
 である。配階級の採用と多数の増進を敢て争議は利す。また
 の犠牲者を以て休戦するの仕方をなした。然るに東電一石二鳥の
 中、僅年の阻礙に多くに従業員を動員し、配階級を敢て争議し
 決に当つては組合を認めさせ、解決俸額は当時の客觀的状態に於ては
 決して惨敗ではなかつたと思ふ。然るに創設以前、全く受難期に達し
 たり。我組合としては動らざる陣營に動搖を果さず、全く受難期に達し
 した。これら組合前衛分子の決死的努力と熱意に寄つて克服され
 殆んど旧態に回復されつゝあり。今茲に昭和五年年度大会を開催する
 に当り過去一ヶ年の若き闘争報告をなすに当り組合員大衆
 の批判を仰ぐものである。